



▶ レジ袋有料化

レジ袋無料配布の中止への取り組み

ユニーでは、従来からノーレジ袋キャンペーンをお客様と一緒に進めてきましたが、さらにレジ袋の使用量を削減し「廃棄物削減・地球温暖化防止」を推進するために、2007年から自治体や市民団体・同業企業と一緒に「レジ袋無料配布中止」を進めてきました。このキャンペーン活動は環境活動として有意義なのですが、レジ袋を無料で配布し続けてきた店舗で無料配布を中止し、必要なお客様には購入していただくということが、商売に影響するのではないかと懸念がありました。

確かに、ユニーで最初に実施した横浜市緑区のピアゴ中山店（旧ユニー中山店）では、自治体や市民団体との協働ではなく、周辺の同業他社とも連携していなかったため、一時は売上げや客数が落ち、営業に影響してしまいました。その後、「今までと同じようにレジ袋などを使い捨てしていたら、未来の子供達にきれいな地球を残せない」という訴えかけにより、客数・売上げを持ち直すことができました。

この最初の店舗での課題発見により、「単独企業・店舗で実施しないで、地域の自治体・市民団体・事業者と協議会を開き十分に話し合い、お客様に理解協力をいただく」ということを実施してきたことにより、以後大きな問題も無く進めてこれました。

- 1 自治体が、レジ袋削減は「廃棄物削減および地球温暖化防止」のためであることを広く市民に知らせ、主体的に取り組むこと。
- 2 地域の市民団体が支援して下さること。
- 3 地域の小売り事業者などが皆で参加すること。

自治体・市民団体・事業者の三者がそれぞれの役割を果たすために、協議会を設立し十分に話し合い、協定書を締結するよう努める。

地域環境活動に寄付

有料レジ袋販売の売上げの一部を地域環境活動に寄付しています。

●2009年度実績
90市町 169店舗
20,359,719円



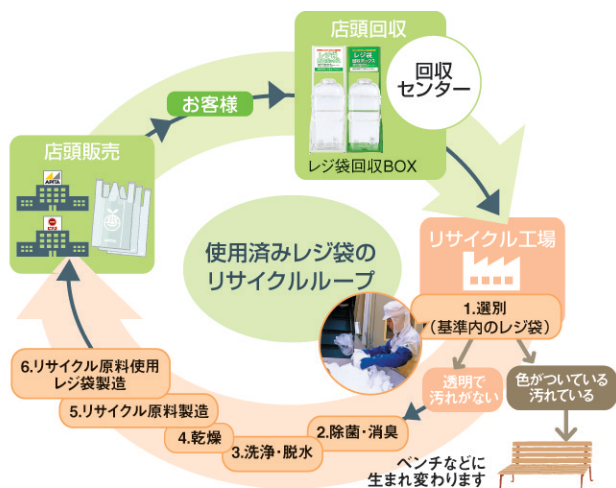
金沢市よりレジ袋収益金寄付感謝状を授与される
名古屋市内の幼稚園の園庭芝生化に協力

●府県別レジ袋有料化実施店舗率
2010年6月20日現在

府県名	食品取扱店舗数	有料化実施店舗	実施率
実施済み			
岐阜県	19	19	100.0%
山梨県	3	3	100.0%
富山県	7	7	100.0%
石川県	4	4	100.0%
福井県	3	3	100.0%
茨城県	3	3	100.0%
福島県	1	1	100.0%
一部実施			
愛知県	100	95	95.0%
三重県	15	14	93.3%
静岡県	23	20	87.0%
長野県	5	3	60.0%
神奈川県	10	1	10.0%
未実施			
奈良県	1	0	0.0%
千葉県	3	0	0.0%
埼玉県	7	0	0.0%
群馬県	6	0	0.0%
栃木県	2	0	0.0%
滋賀県	6	0	0.0%
京都府	1	0	0.0%
新潟県	3	0	0.0%

▶ 使用済みレジ袋のリサイクル

レジ袋の使用削減を進めると同時に、使用済みのレジ袋を回収、再生資源として活用する取り組みを2008年より実施しています。回収したレジ袋は、着色の有無や汚れによって、再生レジ袋の材料に使用、またはお客様用ベンチの材料に再利用しています。



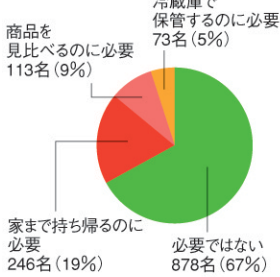
▶ トレイを使用しない販売への取り組み

「レジ袋の次はトレイ」だと、市民団体や自治体から要請があり、トレイ無し販売の調査を実施しました。名古屋市のアピタ千代田橋店で、精肉商品の一部を通常のトレイを使用したものと、ポリ袋に入れたものとに分けて販売してみました。購入前アンケートでは、67%が「トレイは不要」と答え51%が「袋売りを購入する」と回答しましたが、実際のポリ袋入りの販売個数は約26%でした。今後も検討を進めていきます。

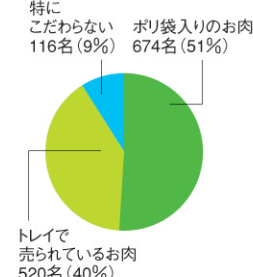


お客様の意識と実態

●「トレイを必要ではない」と回答した方 ▶67%



●「ポリ袋入りを買う」と回答した方 ▶51%



●販売試験の結果

